

令和元年度 並木病院 臨床指標

1 施設基準

①基本診療料施設基準

療養病棟入院基本料 1・地域包括ケア病棟入院料 2・重症皮膚潰瘍管理加算
診療録管理体制加算 2・療養病棟療養環境加算 1・総合評価加算
認知症ケア加算 2・データ提出加算 2・感染防止対策加算 2

②特掲診療料施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料 I・運動器リハビリテーション料 I
医療機器安全管理料 I・神経学的検査・薬剤管理指導料・CT 撮影及び MRI 撮影
電子的診療情報評価料

③その他の基準・加算

入院食事療養費 1・在宅復帰機能強化加算

2 患者延数（過去 3 年）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入院患者 延数	75,023	75,433	75,622
1日平均	205.5	206.7	206.6
外来患者 延数	8,630	6,241	4,440
1日平均	29.3	21.4	15.5

3 病床利用率（過去 3 年）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
全病棟	97.0%	97.5%	97.5%

4 医療区分 3・2 の割合（過去 3 年）

	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	区分3	区分2	区分3	区分2	区分3	区分2
全病棟	36.7%	49.0%	45.7%	39.6%	45.7%	39.6%

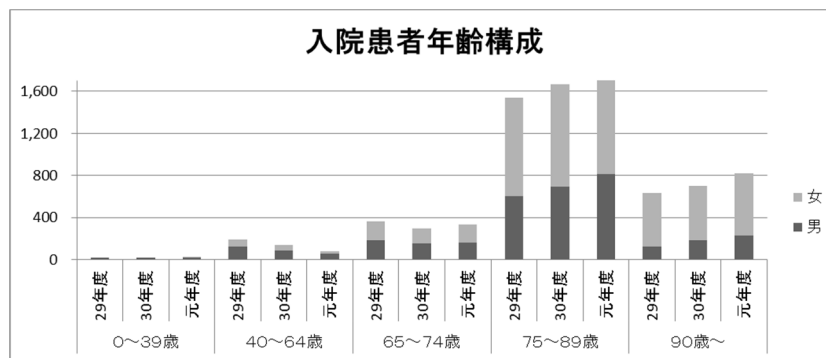
5 ADL 区分の割合

ADL区分3	ADL区分2	ADL区分1	総数
51,024	12,398	3,109	66,531
76.69%	18.63%	4.69%	100.00%

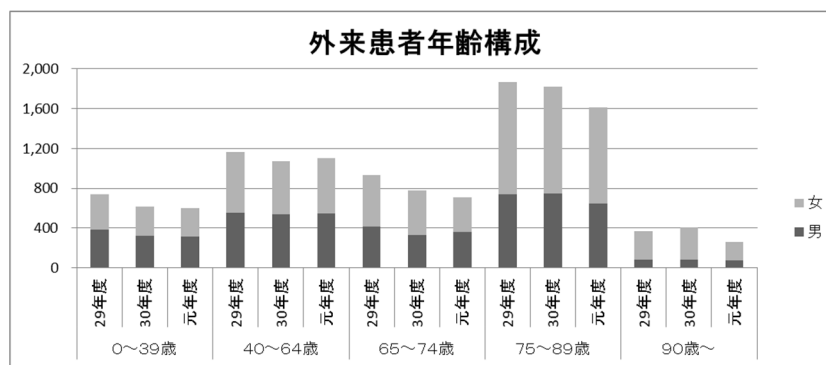
6 褥瘡（新規褥瘡発生率）

$\frac{\text{分母のうち、d2 以上の褥瘡の院内新規発生患者}}{\text{調査月の新入院患者数+当月 1 日現在患者数}}$	0.82%（年平均）
--	------------

7 入院患者年齢構成



8 外来患者年齢構成



9 入院患者数と入院前状況

入院患者数 591名の入院前状況		
入院患者数	合計	比率
【合 計】	591	
急性期病院	305	51.6%
急性期以外の病院	145	24.5%
介護老人保健施設	7	1.2%
自宅	122	20.6%
その他・福祉施設	12	2.0%

10 退院患者数と退院先状況

退院患者数 586名の退院先状況		
退院患者数	合計	比率
【合 計】	586	
急性期病院	80	13.7%
急性期以外の病院	31	5.3%
介護老人保健施設	26	4.4%
自宅	141	24.1%
特別養護老人ホーム	44	7.5%
その他・福祉施設	72	12.3%
死亡	192	32.8%

11 退院患者疾病分類

退院586名の上位3位の疾病分類（ICD10分類）					
1、	I分類	循環器系疾患（心不全、脳血管疾患等）	33.6%	197名	
2、	J分類	呼吸器系疾患（肺炎、慢性呼吸不全等）	15.2%	89名	
3、	G分類	神経系疾患（パーキンソン病、多系統萎縮症等）	12.1%	71名	
死亡192名の上位3位					
1、	J分類	呼吸器系疾患（肺炎、慢性呼吸不全等）	37.0%	71名	
2、	C分類	新生物（腫瘍）	18.8%	36名	
3、	I分類	循環器系疾患（心不全、脳血管疾患等）	15.6%	30名	
医療機関へ転院111名の上位3位					
1、	I分類	循環器系疾患（心不全、脳血管疾患等）	58.6%	65名	
2、	G分類	神経系疾患（パーキンソン病、多系統萎縮症等）	13.5%	15名	
3、	F分類	精神・行動障害（認知症、うつ病等）	9.0%	10名	
老人保健施設26名の上位2位					
1、	I分類	循環器系疾患（心不全、脳血管疾患等）	57.7%	15名	
2、	G分類	神経系疾患（パーキンソン病、多系統萎縮症等）	15.4%	4名	
在宅系（自宅141名、その他116名）257名の上位3位					
1、	I分類	循環器系疾患（心不全、脳血管疾患等）	33.9%	87名	
2、	G分類	神経系疾患（パーキンソン病、多系統萎縮症等）	17.5%	45名	
3、	S分類	損傷・その他の外因（腰椎圧迫骨折等）	10.1%	26名	

12 在宅復帰率

（療養病棟）68.89%	令和2年3月
（地域包括ケア病棟）77.91%	

13 リハビリ（令和元年度平均）

セラピスト配置人員数

理学療法士 12名	作業療法士 7名	言語聴覚士 11名
-----------	----------	-----------